

**放課後等デイサービス  
児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）**

令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		感染対策として、机をずらしたり、活動内容を工夫して、密にならないようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		全面バリアフリー化している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎月一回全体会議を開き、職員が意見を交換出来るようにしている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者からの評価は、職員間で共有し、意見を出し合い改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日気になる事や、意識して様子を見なくてはいけない事柄を、職員の共通の課題として、話し合う時間を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	関連機関との連絡を積極的に行い、情報交換に努めるようにしたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		参加可能な外部研修・オンライン研修に積極的に参加している。内部では勉強会を定期的に行い、各職員のスキルを高めるようにしている。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		毎月プログラム内容を配布している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放デイ個別支援・児童発達支援計画を作成しているか。	6		十分な職員間の話し合い・保護者様との面談・関係機関でのモニタリング等を行った上で支援計画を作成している。
	13	放デイ個別支援・児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		「こども理解シート」を各児童・生徒ごとに作成し、十分な職員間の話し合い・保護者様との面談・関係機関でのモニタリング等を行った上で支援計画を作成している。
	14	放デイ個別支援・児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画書が常に確認できるように、職員の目につくところに設置してある。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	
	16	放デイ個別支援・児童発達支援計画には、発達支援ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		子どもの発達状況や保護者からのニーズを考慮し、様々な活動を行っている。また、レパトリーを1つずつ増やす努力を続けている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放デイ個別支援・児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		集団活動の中にも、一人ひとりの特性を考慮した動きを取り入れた課題を設定している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		打ち合わせ後も、ボードでその日の予定や役割を常時確認出来るようにしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		子どもの反応や動向で気づいたことがあればその都度伝え、主任が中心となり全職員への情報共有ができています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録した情報は、全職員で共有している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	変化（成長）の著しいこどもに関しては、計画との違いが出てきたときに、モニタリングを行い、保護者様との面談を設定して、支援計画の変更をしている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		現場の主任が参加出来るように、勤務を組み替えて対応している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2	関係機関との連絡を積極的に行い、情報交換に努めるようにした。
	26	児童発達支援では、併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。放デイでは、学校との情報共有・連絡調整を適切に行っているか。	6		児童発達支援では、保護者様を通して、就学前の情報を教えていただいている。より多くの情報が必要な場合には、保護者様の了解を得た上で、関係機関に直接連絡を取り、情報共有に努めている。放デイでは、疑問に思ったことは、送迎時に、担当教諭に聞くようにしている。
	27	就学・進級時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		進学先の担当者に事業所での様子を見に来てもらったり、こちらから先方に説明に向いたりして、より深く子どもを理解してもらう努力をしている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)		6	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	児童館等で出会うことはあるが、一緒に活動する機会は無い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		連絡帳や送迎時の保護者と直接話す機会を活用し、積極的に情報を共有している。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6	ペアレントトレーニングは大切であるが、研修等で職員のレベルの向上を行う必要がある。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		利用開始前にしっかり説明し、ご理解・ご納得をいただいている。
	36	支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		
	37	「支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎時に保護者と直接会話する時間を設けている。また、必要であれば電話での相談や面談も行っている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6	今後開催できるよう、検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		送迎時に保護者と直接会話する時間を設けている。また、必要であれば電話での相談や面談も行っている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		毎週支援内容をInstagramで紹介している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		職員は個人情報の取り扱いについて十分に注意し、外部に持ち出すことがないようにしている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		放デイでは、毎月一回、避難訓練・防災の話等で非常時の心構えを考える時間をつくっている。児童発達支援では、避難訓練等を行うことによって、イレギュラーな出来事にも落ち着いて対応できる様な練習をしている。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		利用前に保護者様からしっかりとした情報の提供を受けるようにしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		利用前に保護者様からしっかりとした情報の提供を受けるようにしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		記録をファイリングし、全ての職員がいつでも閲覧できるようにしている。事例を共有することで、事故防止に努めている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		全体会議で虐待予防の研修を実施
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、支援計画に記載しているか。	6		該当事例はないが、マニュアルを作成し、保護者・関係者と事前に意見交換をし、理解を得たうえで、行うようにしていきたい。